

資料 自由意見

介護保険や高齢者福祉に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

調査票の最後に記入欄を設け、介護保険や高齢者福祉に関する意見を記入してもらった。ここでは、各意見を内容ごとにおおまかに分類し、代表的な意見を抜粋して掲載した。

1. 若年者調査

	項 目	件数
1	介護保険の制度やサービスについて	23件
2	高齢者施策について	22件
3	情報提供・相談について	18件
4	経済的負担について	14件
5	施設について	14件
6	生きがい、地域のつながり等について	9件
7	介護者について	7件
8	介護予防について	7件
9	自分や家族の将来について	6件
10	医療について	5件
11	アンケート調査について	9件
12	その他	12件
	合 計	146件

1 介護保険の制度やサービスについて

- ・わかりやすくしていただけることを望みます。サービス・基準・申し込み、すべて複雑なものは混乱します。
- ・地域格差をなくしてどこに行っても同様のサービスを受けられるようにしてほしい。
- ・介護の認定について、同じような状況で一人暮らしの人が認定が高く、家族と同居している人の認定が低くなっているのはおかしい。本人の身体の状況が同じなら介護の認定も同じになるべきだと思う。
- ・介護保険サービスでは、同居している家族がいる場合は食事の支度などのサービスが使えないと言われました。高齢者のサービスばかりではなく介護する側のヘルプもしてくれるサービスが欲しいです。同居していると1日のうちお昼ご飯だけでもヘルパーさんの手助けがあるととても時間も有効に使えるのです。
- ・外出支援サービス。足腰が悪い人が、通院などで外出する場合、タクシーを使うしかなく負担が大きいため助成する施策をとってほしい。
- ・介護事業従事者への待遇（特に賃金）を早急に改善される事を希望します。以前機会あってその方たちの意見を聞いたところ、かなり厳しいものでした。若い方たちが結婚することもできずに安い給料で重い責任（人の命が関係する）ある仕事を行っていました。その方たちの待遇が改善されれば利用者へのサービスも良くなるのでは。

- ・お年寄りに赤ちゃん言葉で接している介護者の声をよく耳にします（自宅の前に週何日かホームの車が来て声かけをしておりますが“ウワー”と思う事しばしばです）。私もボランティアをしていた時、それは絶対してはいけない言葉だと教わりました。私も未だ介護をしたことは有りませんので生意気なことは言えませんが、その声を聞いたたびにいつも心に思っておりました。私もいつかは行く道なので、どんな気持ちになるのかなあ、とってしまいました。
- ・母を昨年看取ったが、兄嫁が最後まで家で介護しました。介護保険も利用し、ケアマネジャー等の方々に大変良くしていただき、死化粧も生前の母の面影を出していただき、大変感謝しています。世の中では批判もありますが、丁度良い制度だと思います。

2 高齢者施策について

- ・一人暮らしの老人が増加していると思う。介護する家族がいない前提で考えてほしい。
- ・画一的には中々出来ないと思われ、各々のケースにより細やかな対応が必要と思います。難しいことですが、それを行う「人間」がまず思いやり・奉仕の精神を持ち、又、受ける者・介護する側がプライドを持って手を添え、助け合って年齢を重ねられるよう真剣に対処して下さい。
- ・国（地方自治体も加担して）は、家族を解体する事で在宅介護ができないような政策を長い間とってきました。その結果日本の家族は在宅介護を担う能力を失ってしまいました。にも関わらず家族に在宅での介護を押し付けるのは酷です。国が高齢者の面倒を見ると言ったのだから（みるという政策をとってきたのだから）、覚悟を決めて最後まで面倒をみて下さい。
- ・介護を家族にしてもらうのが基本の考え方はまちがいだと思う。国や社会で老後を保障するしくみを作るべきだと思う。お金を出せば仕事として完全に見てもらえる社会になってほしい。家で介護している家族は苦勞している。愛や情では通用しない。家族に甘えてはいけない。
- ・介護による疲れは今後、社会問題に発展すると思われ。市の福祉政策の一部として検討を始めていただきたい。老人ホームへ押し込むのではなく自宅で家族との係わりの中で社会復帰もあると思う。他人任せではなく家族を中心とした対応をサポートする仕組みを作して下さい。
- ・介護は国にかかる負担が大きすぎ、現制度は後世に頼る税金を投入していますが、根本的に考え方を変えないとこの負担で国の存続自体が不可となってしまうのではないかと思います。

3 情報提供・相談について

- ・介護保険について誰にでも分かるように分かり易い言葉での説明をお願いします。
- ・現時点では介護の必要がない為何も分からない。先の事を考えて勉強会等を開いて欲しい。
- ・老老介護や老若介護（障害者の子を老親がみる）もあります。分かり易い情報の提供と親切な応対や手続きが、一つの窓口でできるようにしてほしいです。
- ・介護を必要としない健康な状態にいる年齢にいる間に兄弟・姉妹・親類に関係なく、又弁護士にも関係なく（悪徳弁護士が多い）、市が関係・運営する機関に相談できる体制があれば良いと思う。無ければ設立について検討願いたい。相談内容（1人になったときの介護問題・資産管理問題・老後の対応等）。
- ・まったく無関心でしたが、親の事を考えると先ずどこに行って相談したらよいのかもまったく分からない状態です。パソコンも使えない人はまずどこに行き、どんな手続きなどをすればサービスが受けられるのかはっきりと把握しておかなければいけないと思います。まつど広報にでも大きく見やすいように載せてほしいです。見落としているのかもしれませんが・・・。
- ・高齢者・市民福祉タウン誌をNPO法人で発行・運営し、市の行政情報・医療情報・福祉情報・スポーツやカルチャー情報等をメニューとし、ポスティング配布する。紙媒体（タウン誌）と同時にインターネットサイトを立ち上げ、こちらには広告（一般）を掲載し、情報量を多くもったサイトとして充実させる。

- ・このアンケートの中に、今松戸市でやっている施設の場所・内容等のパンフレットを入れていただければ情報としてありがたかった。インターネットではこの部分を聞く等の簡単な内容だけの提供だけでも良かったです。
- ・防災用無線による放送を聴くことがあるが、音が聞き取りにくい場合がある。又、発見された時も放送してもらいたい。

4 経済的負担について

- ・一生懸命支払ってきた年金を受けた父が、現在有料老人ホームでそのほとんどを支払っています。良かったという見方もありますが、高額な施設しか空いていない状況に不満を覚えます。更に年金からも税金と保険料が取られています。個人で使えるお金はあまりなく、中々厳しいものだと思います。介護者にとっての経済負担をもっと軽減できるようお考え頂きたいです。
- ・現在自分がしている仕事上、高齢の一人暮らしの方をたくさん知っています。もう少し金銭面で楽にしてあげられたらもっと心にゆとりが持てるだろうに、と思います。年金が少ない、もらえていない人を見ているせいか気の毒です。高齢者宅を（一人暮らしの）もっと把握して訪問して、何か相談に乗れる施設があればお年寄りも安心なのではないかと思っています。
- ・収入のあるうちに保険料はしっかり支払い、実際に介護が必要になった場合に一定額を支払っていれば、その時点での保険料を軽減できる、もしくは不要とできるような保険料の支払いが可能になれば良いと思う。
- ・65歳までは働けますが、その後の収入が年金だけでは家賃の支払いが難しくなります。少しでも収入の道があると良いのですが、このことだけが心配です。

5 施設について

- ・高齢になり体が自由に動かなくなった時、子供に見てもらいたい反面、迷惑をかけたくないと思ってしまいます。安心して、しかも低料金で入居出来る施設を望みます。
- ・特養などの施設について、現状、本当に必要な人が利用できずあまり必要の無い人が入所している矛盾（過去に申し込み順に入所させた運用方法に問題あり）。いつの時代も弱者にしわ寄せが行く行政の怠慢。
- ・福祉施設の費用を安くして欲しい。介護保険を使って13～15万円費用がかかるのは負担が大きく、精神的にも経済的にもつらい。認知症は目が離せないと思うので専門の方のいらっしゃる施設でお世話になった方が本人にも家族にも最も良いと思います。又、施設の方々のレベルアップも期待したいです。
- ・1人での介護は大変、病気も出来ない。短期間でも預けられるような施設が多く必要。直ぐに受ける施設は少ない。
- ・国交省も始めている、入居している高齢者同士が面倒を見る、入居費用が安く運営できる施設の開発。

6 生きがい、地域のつながり等について

- ・高齢者が気軽に集まれる場所、又元気な高齢者が働ける場所があったらいいですね。建物は立派でなくても安心・安全な物を望みます。
- ・一人暮らしの年寄りや生活苦の年寄りがたくさんいる中、人の為に何かしたいと思う人もたくさんいます。民生委員の方々だけでなく何かしたいと思う方々の力も借りてもっと目の届く松戸市にと願っています。
- ・元気な高齢者もたくさんいます。又、AはできなくてもBはできるなどあります。高齢者同士の相互扶助、高齢者（ケアホームなど）と保育園・幼稚園の交流・相互扶助。例）隣同士に建設、行ったり来たりする、一時間は一緒に遊ぶなど。

- ・ 独居老人や核家族の増加と高齢化社会はとても心配な問題です。近所づきあいが希薄になり、お互いに助け合ったり、見守り合ったりする必要があるのに、何か問題が起こっても個人や家族で抱え込んだりしてどんどん深刻化していってしまう傾向にあると思います。地方の施策で見習うべきものがあるように思いました。いつかは誰もが老いていきます。自分の問題として考えたいものです。
- ・ インターネットを利用し不定期な作業等、有償・無償含め、多様な活用場・情報提供・仲介を行政が行うことで安心して依頼・応募等出来る仕組みづくり。
- ・ 一人暮らしの高齢者は町会・民生委員さんの関わりが大事だと思うが、個人情報の保護等で難しいと聞いている。災害等の場合、大変な問題になると予想される。市での連携を強くお願いしたい。

7 介護者について

- ・ 介護を卒業（現時点）した経験から、介護する家族が息抜きを取れる様な支援のあり方と費用負担の軽減を重点検討して頂きたい。
- ・ テレビなどで独身の子供が1人で親の介護をしているのを見ますが、仕事を辞め、結婚もせず、ただ親の介護のために生きているしかないのを見ると、なんだか切なくてなんとかならないのだろうかと思ってしまう。
- ・ 以前、初めての子を育てる中、寝たきりの義母を世話しなければいけない状況の中、病院に（特老のお世話に）なったが、近くにいる義姉からの協力は無く、その預けたことを責められたりしたが、夜泣きをされて食事の支度で精一杯で、臨月までのような義母の世話をする自信が無かった。気兼ねなくショートステイでき、気晴らしができる周りの環境も大切と思う。そのような悩みを話せる場を持ってほしい。

8 介護予防について

- ・ 出来る限り要介護・要支援にならないような教室等を開き、元気で働ける老人・おしゃれの素敵な老人が多くなるように動いて欲しい。個人個人でも努力はするが、集うチャンスを多く作って外出が苦にならないような方向付けをしてくれたら安心です。
- ・ 私の母は87歳、ゲートボールで忙しく家計等から食事まですべて自分でやり、私達子供には迷惑かけない生活をしている。その様な努力も母はずっと1人でやっている。やはり心がけ次第かと思う。常に頭・体を使い介護が必要でない老人を目指すべきです。介護施設の増加は良いのですが、高齢者数が多すぎて追いつかないと思います。是非、介護の世話にならない努力をすべきではないでしょうか。
- ・ 廃校になった学校施設を市民スポーツ・健康アカデミーとして有効活用し、予防健康推進・市民相談所とする。

9 自分や家族の将来について

- ・ 親の介護をしています。その不安もあります。一方で自分の老後を考えると一層不安になります。親が亡くなると身寄りも無く、1人になります。公共と地域社会が頼りです。
- ・ いつかは我が身、何年か先、老いは必ずやって来る。自分を育ててくれた親に感謝して自分の出来る限りの事はこの先してあげたいと思います。しかし個人の力には限度があり、その所、心の疲れを市が手助けしてくれる事を望みます。
- ・ 現在、老健入所中だが、自宅へ引き取るとなると不安（老老介護）がたくさんある（身体的・体力的）。特養には申請中だが、予定は全く立たない状況である。打開策があればと思う。
- ・ 自分が高齢になり、その時どうして欲しいかを若いうちに家族で話し合っておくのも良いと思います。やはり、保険や福祉に頼るばかりでなく、自分で貯え（お金）を作っておくべきです。最後はお金が物を言うって感じです。

10 医療について

- ・医療と介護の一体化を促進して欲しい。
- ・訪問医療・在宅医療に力を入れてくれる医者を増やしていただきたいです。

11 アンケート調査について

- ・今回のアンケートにて将来に対する不安・覚悟などが改めて心がけが必要と痛感しました。要介護者にならない様、健康に留意します。
- ・高齢者でも自立していたい人もいますが、当アンケート調査は市から何を与えるかという目線で作られているようで大変気になります。
- ・今は切実な悩みのある状況では有りませんが、今後発生するであろう事を想定し、アンケートに記載しました。アンケートの項目など全てにおいて個人での対応はほんのわずか。県や市など公の機関の充実が大変重要です。このようなアンケートは今後も実施して本来のあるべき姿を目指して下さい。

12 その他

- ・年をとって外出しても道路の段差があったり、階段があるため足に負担がかかったり危険なので、エレベーターを取り付けたり工夫した街づくりができると生活するのに便利だと思います。行政担当の方よろしくをお願いします。
- ・駅まで遠く、買物にも行けないため、タウンバスを運行してほしい。
- ・既に行われているかもしれないが、小・中学校での教育に介護等、高齢化に関する授業、シルバー人材の活用。
- ・私の経験から自分の家族は、おじいさん・おばあさんの面倒は自分たちで見るということ。あまり国に頼るとかえってがっかりする。自分の家族は自分で守ること。

2. 高齢者調査

	項 目	件数
1	介護保険の制度やサービスについて	201件
2	高齢者施策について	181件
3	経済的負担について	128件
4	住まい・施設について	105件
5	情報提供・相談について	105件
6	自分や家族の将来について	93件
7	介護予防について	78件
8	生きがい、地域のつながり等について	71件
9	医療について	34件
10	介護者について	17件
11	バリアフリーについて	10件
12	アンケート調査について	106件
13	その他	140件
合 計		1,269件

1 介護保険の制度やサービスについて

- ・介護度の認定はその人の生活動作を見た上で決めて欲しい。
- ・介護が必要になった場合、手続き認定されるまで数ヶ月かかると聞いております。また、ベッド、車椅子等を申請した場合も数ヶ月かかると言われ、その間に他界（主人）しました。早急に対処して欲しいと思います。
- ・高齢者が要介護の認定を受けても、介護保険を支払っているからと言ってあまりにも気軽に利用しすぎる傾向にある。よって介護保険が毎年高くなりきりが無い。その事を充分考えて欲しいと思います。
- ・将来介護を受ける事があるか否かはわからないのに高い保険料を支払い続けているが、介護を受けている人はわずか1割負担では不公平感が拭えない。介護保険料の軽減と同時にもっと利用者負担を減らそう希望する。
- ・介護保険を数年利用していない該当者には何らかの形で還付出来るような制度を御検討願いたい。
- ・介護保険料を払っていますが一方的に取られている。今後利用する者、しない者との不公平さなど保険料の説明など市はすべきだ。年1度の決算を広報で知らせるとか方法はあると思う。市の再考を求める。高齢者は年々増加すると思う。充分今後を見通した事業をやらないと子供、孫に大変な負担をかけると思う。
- ・父が脳出血で倒れ半身麻痺となり、数年病院に入院し、約1年半前に亡くなりました。その間私が感じたことは、病院に入院しているという理由だけで一切介護保険が適用されないことに対する疑問です。父は重度の障害を負い、在宅介護が難しくやむを得ず病院を選択したのです。できればそういう人達にも介護保険の対象になれば有り難いことです。
- ・どこからどこまで介護保険でやっていただけるのかはつきりしない点があります。友達が脳梗塞で寝たきりで1年以上になりますが、介護の方が頼めばやるらしいのですが黙っているとやってもらえないとこぼしておりましたので一言書きました。
- ・介護保険の受給対象となるハードルが高いのであれば、自費でもリハビリなどが受けられるようにして欲しい。

- ・単身高齢者への介護支援は第一であるが、一定年齢（例：70歳以上など）以上の老老介護家族への介護ヘルプサービスの制限を外すことが必要と考えます。
- ・10年間も介護保険料を納めています。介護保険サービスを受けずに健康維持していますが、足の悪い人が医療機関にひとりで通院できる巡回バスがあると助かります。
- ・介護の中で、生活支援の各個人への買物や調理支援が本当に必要か疑問。現在ある配食サービスを活用した方がよほど効率的ではないか。過剰サービスの部分は見直し、本当に必要なサービスに向けて欲しい（ヘルパー研修で強く感じた）。
- ・認知症になっている姉と10月から同居する為、5月に建て替えをすることになったが、費用の援助をして頂きたい（改装・増築費には制度が適用されるが・・・）。
- ・妹宅で介護のためリフォームをしたが、指定業者への支払金額（介護保険利用）が高いことに驚いた。後日別室を他の業者（私費）に依頼したが同じ様な工事で約半額だった。介護保険で行う事業は高いと友人からも聞いた。
- ・一人暮らしの高齢者宅に電話などで現況など伺っては。一人暮らしの高齢者宅に緊急連絡カードなど、万一非常事態が起きた時に活用出来るように。私の住まいの民生委員さんは？知りません。名前位知りたいと思います。
- ・現在の介護施設（デイサービスなど）での一日の過ごし方で気になる事は、あまりにも老人扱い（幼児と同等）が当然の作業です。例えば全員に童謡や、大昔の演歌、幼稚な踊り等々。現代の高齢者はもっと向上心や特技・趣味があるはず。チーチーパップをやらせられるからと尻込みしている人が大勢いることを知って欲しい。
- ・介護サービス事業が第三者評価を受ける為の助成金を出して欲しい。介護サービスの質の向上を図るため。
- ・昨年末家族を自宅で看取りましたが、介護保険を利用出来て本当に助かりました。介護用品を安く購入でき、医療費も高額にはならず有り難かったです。
- ・介護福祉関係に従事している方々の報酬が、厳しくきつい仕事の割にはあまりに低く、辞めていく人が多いと聞いていますが、何とか改善できないものでしょうか。介護レベルに見合った十分な介護が受けられるならば、多少保険料が高くなってもやむを得ない事と思います。
- ・介護認定の段階が厳しくなりサービスが不十分になった。また、ヘルパーの仕事の仕方に差がありケアマネジャーの管理確認に不信がある。例えば身の清掃サービスで週3回来宅するが、埃がたまっていてハタキをかけた形跡がない等。ケアマネジャーのプランをきめ細かにして欲しい。
- ・老人ホームの職員の意識改革や弱者に対する上から目線をなくすよう。介護職員がよく教育されないまま現場に入っている。介護職員の身だしなみ、清潔感ほか食事等の老人へのおねだり等々。付け届けをしてもどこも御礼の一言もなく、手違いかとトラブルった事あり。自分の将来が不安になる。将来ホームに入居しようと思ってきましたが考えてしまいました。

2 高齢者施策について

- ・一人暮らしの老人に対する十分なケアをお願いします。松戸市は無縁社会とは無縁な街となる事を望みます。
- ・高齢者福祉に便乗した施設（箱物）や人員（役人）を絶対に増やさないで、税金や保険は介護の為に直に使われるような施策をお願いします。
- ・昨年1年わが家に市の職員や民生委員が訪問に来たことは1度もない。このような地味な活動の充実が望まれる。老人社会は要介護の人達だけではない。今は健康でもいざというときの不安を抱えている人が大部分だ。

- ・ 民生委員、ケアマネの質の向上を強く望みます。放送大学にて当アンケートに含まれる事項の勉強をしています。行政面での担当者の質について？と思われる言動を実際見聞きしています。当事者が心理学の勉強を強く望みます。名誉職と考えている人間あり、任命の際のチェックをされたし。ケアマネについては学識だけでなく人生の機微について世間の裏側の知識も必要ですよ。
- ・ 近所を見ても老夫婦の多いことがまず気になります。私の家も同様です。どちらが先に倒れるかわかりません。その時ここにまず電話をする、そしてそこで指導員を出向させる、そしてその現状から色々支援策を指導する。この流れをまずやる事にあると思います。老人は行動が出来なくなることを考慮すべきです。
- ・ 公的成年後見制があれば良いと思います。司法書士や弁護士の方でなく、公的機関ができないでしょうか。
- ・ 自分の家を売却しないで担保にしてお金を借りられたらと思います。死亡した場合、市は売却して保険人を置いて相続人がいれば渡す。こういう方法があれば自分の資産である程度楽しく暮らせるのではと思う。年金だけでは苦しいですし、家を売却するのも次の住居を探したりしなければならぬので考えて頂ければと思います。勿論利子を取るのは当たり前ですが、安い方が良いに越した事はありません。
- ・ 出来るだけ各人のライフスタイル・価値観に沿ったきめ細かいサービスを有償あるいは無償で提供して下さい。それにはNPOなどの市民活動で実績のあるグループを財政的にも支援し、彼らの活力を引き出して上記のサービスの向上に反映させて下さい。
- ・ 75歳になった途端に「後期高齢者医療保険を毎月支払え」という通知が来て私はショックを受けています。介護保険と高齢者医療保険を一本化して、75歳という時点で高齢者にショックを与える制度ではなく、周囲からも長寿を祝福されているという実感を持てるような制度に「いきいき安心プランⅢ」で是非見直して下さい。高齢者いじめはやめて下さい。
- ・ 少子高齢化が顕著であることから、将来的には公共のサービスには過度な期待せず受益者負担を重視した施策をしてもらいたい。
- ・ 市町村単位で保険事業をしたり、福祉行政をするのは地域間格差が大きく出て良くない考える。なるべく広域で計画したり、実施する方が相互に助け合うという主旨に合うのでは。
- ・ 行政市と地域（自治会、町会等）との連携を具体的にどうすべきかをもっと考える必要がある。いくつかの役割分担をうまく生かしていないのでは。
- ・ 人間は自立できるのに生活保護で受け入れる事はやめるべきです。病気の人は病院に入って助け、公団の空き室に入ってもらうべきです。過度の福祉は人をだめにする政策となり国を滅ぼす源です。
- ・ 敬老祝い金や長寿に関する施策コンテスト等不要です。ますます高齢化社会になります。高齢化を促進するのは反対です。保護しすぎサービスしすぎ、人間生まれたら死ぬのは自然です。無理に長生きさせたり、保護したりは不要。自分の力で出来ている医療や介護を選び代償を払うべきです。その費用は子供の教育費に充てることの方が大切です。

3 経済的負担について

- ・ 介護保険を受けている人が介護費用を負担しながら保険料を支払っていくという事に納得が行きません。説明は受けた事がありますが、良く分かりません。
- ・ 賃貸住宅に住む高齢者に家賃の助成を願いたい。
- ・ 介護者が不足している現在、本人の考えは自分の家族はなるべく最後まで見てあげたいと思っています。しかし私共の国民年金生活者にとって施設に入れることは無理であると思います。その為に国県市と家族が介護しやすい部屋の内装などの補助金がスムーズに負担無くできると、高齢者、障害者にとっていつまでも家族と一緒に生活できるのではないかと希望します。

- ・夫婦二人で元気に国民年金をもらえるうちはまだしも、どちらかが欠けて一人になった時の国民年金では生活が出来ない。今のままの介護保険の天引きの後の金額では何を食べて、何を着て生活出来るか今から心配です。
- ・亡夫の経験で長期入院となる場合、預かってくれる病院がなかなか見つからず、介護保険も使えないので、入院費が(個室でないで迷惑がかかる為)かなり高額になり入院が長引く程高負担になります。保険料は毎年天引きされていました。
- ・近くに住む母親は今年100歳になります。姉妹で自宅で世話をしていますが介護サービスは受けていません。年金も月3万円位でそこから介護保険が差し引かれ、訪問診察を受けていますので月2回で8千円近くかかります。このような高齢者はせめて無料にして頂きたいです。

4 住まい・施設について

- ・特別養護老人ホーム施設の増設希望(市内の公共の廃施設の利用等で)。
- ・近い将来、夫の死後、遺族年金の範囲で入居出来る施設が有るのかどうか大変気になっております。
- ・万が一認知症や寝たきりになった時、近くで順番を持たずに養護老人ホームに入所出来るような施策がほしい。
- ・老人保健施設、リハビリがとても大切だと思うので充実して欲しい。特別養護老人ホーム、老老介護は介護者に負担が多すぎ、心身とも共倒れになる。是非施設の増設を希望します。
- ・盲目の高齢者が安心して暮らせる施設を希望。全盲の妻を心配する者です。
- ・今後の希望の一つとして、入所する時の入会金が安くて、なるべく低料金で入所できるようなケアハウスのような所を増やして欲しいと願っています。
- ・地域に悩み心を聞いて相談できるような思いやりのあるホームが欲しい。また家で介護されている方々も気軽に立ち寄り気分転換をし、楽しめるようなホームがあるといい。
- ・先日テレビで高専貸住宅の事を知りました。詳しい内容は良く分かりませんが、干渉されず自由でとても良いと思いましたのでもっと数が増えると良いと思います。
- ・低価格な住宅、又は保証人無くして賃貸可能な物件提供。

5 情報提供・相談について

- ・介護保険料徴収については、市の通知書等で説明しておりますが、介護が必要になった時の申請方法、認定までの期間、1割の自己負担でどの程度までサービスが受けられるか分かりやすく説明して欲しい。
- ・高齢者夫婦が多い割には説明書が難しい言葉や横文字が多く、字が小さすぎて年寄りには親切とは思えない。聞きたくても2人きりの生活では解決出来ない。インターネットの時代に程遠い世代で確定申告などの内容も理解するまで大変です。介護受けたくても手続きの仕方が分からない方が多いという事を知って欲しいです。
- ・高齢化が進むにつれ、生活に支障をきたす病気、介護が必要になった時の行政の介護をどのように受けられるか分かりやすく説明される場所が欲しい。
- ・市内にある介護施設の内容説明書や見学会があればまさかの時の下準備がしやすい。
- ・老人対応の事業、組織、相談受付窓口は分かりやすく簡素化して欲しいと願います。行政の縦割を老人には押しつけず、松戸市は率先して簡単なシステム化を実施するよう望みます。
- ・介護保険の収支を分かりやすく説明して欲しい。
- ・住んでいる地域で協力し安心して住めるよう、勉強会を開いてみんなで安心して生活できるように。いずれ年を取るのですから。松戸市の方でも考えて欲しい。

- ・夫を介護し訪問医と訪問看護師による在宅での看取りができたが、末期癌を宣告され余命告知、在宅と移り、どこへ相談していいのかわからないまま市へ介護申請、地域包括支援センターを知り、不安が解消された経緯がある。常日頃から介護相談場所など刷り込みがなかったと反省した。周囲に聞いても未介護者は知らないケースが多い故、もっと周知に徹底してもらいたい。
- ・あんしん一声運動「オレンジ声かけ隊」のことは全く知りませんでした。広く知らせる（知ってもらう）ことも必要かもしれません。
- ・病気を予防出来るような運動や食事などに関する知識を老人に与えること。
- ・介護を含め高齢者福祉の範囲は広く、全てを同時に満たすことは難しいと思います。工程表を作り、充実していく課程を分かりやすく市民に説明していくことで、自分の希望する項目がどの辺にあり、今後の対応策が分かることで安心につながっていくのではないかと考えます。
- ・年々老化が進みます。市役所、保健所、税務署などから様々な通知や申請書などが来ますが、目も悪く読んでよく分かりません。今は夫がやってくれていますが、もし一人になったらどうすればいいのか不安でなりません。いま行っている確定申告などわたしには出来ません。このような人も多いと思いますので、皆さんが分かりやすい具体的な方法を教えてもらいたいと思います。
- ・既に松戸市のホームページに掲載されていると推測しますが、今後も分かりやすい情報を充実させてネット情報を提供願います。
- ・パソコンをリースしてネットワークを充実させる。老人向けに文字を大きく落ち着いた画面を提供する等工夫をして欲しい。
- ・北欧、ことにスウェーデンの介護の取り組み方と費用の保険について知りたい。

6 自分や家族の将来について

- ・老老介護になった場合、片方が無理をして身体の具合が悪くなった時（子供が近くにいないとか、仕事が忙しいことが多いので）安心して福祉のお世話になりたいです。（夫婦とも現在は健康ですが）
- ・おかげでまだ自分のことは主人も私も出来ています。近い将来に起こることで、とても身近に思います。負担金の少ない方法を配慮してもらいたい。
- ・介護等に該当するまでに至っていないので、予測と近所の方の状況で判断した部分もあり。しかしいざ自分が要介護になったら、妻や子供たちに迷惑をできるだけかけない方法で、福祉の方々と相談して人生を全うしたい。
- ・出来る限り長く自宅で過ごしたいと考えていますが、病気になったり身体が自由に動かなくなったことを思うととても不安ですが、認知症等ならないとの保証はないので不安で一杯ですが、なるべく自宅に近い施設でお世話になればと望みます。
- ・主人は要介護2ですが、私も73歳になり今現在は健康に気を付けていますが、これから私が風邪や何らかの病気になった時は介護保険を市役所に申請していないため、どうやっていいのか分からない。
- ・今の所健康ですが、これから介護を受けたり介護する立場になったらと思うと不安でいっぱいです。その為に介護・福祉の勉強をしっかりとしたいと思います。
- ・何も知らなくて夫が二年間ほど介護保険でデイサービス等利用しましたが、保険料を支払っていたのでお金がかかるとは知らなかったのが大変でした。自分の時はどうしたら良いか考えてしまいました。
- ・親は骨折入院で認知症が進み車椅子になったので、老人保健施設に入っている。週2～3回洗濯もの取りに行き見舞ってくる。介護についてのようなことはその時その場にならないとよくわからない。その時に代わってくださる方に相談してやってきた。先どうなるかわからないので不安はある。

7 介護予防について

- ・今、有料スポーツジムには高齢者が沢山来ています。元気に楽しんでいます。特にプールでは歩いて踊っています。地域にこのような施設があれば（無料or低料金）、自宅にこもっている高齢者が元気になると思います。

- ・ スポーツクラブ、センターに通う高齢者が増えていますが大変良いことだと思います。心身共に種々高齢者疾病の予防、改善に大きな効果があると考えます。老人医療費の軽減。スポーツセンター、クラブへの入会金、会費の補助策をとっては如何でしょうか。
- ・ 介護も必要だが何よりも優先するのは健康を維持するための諸施策が重要と考える。手軽に利用できるスポーツクラブ、グランドゴルフや他のスポーツの振興、場所の提供等。
- ・ 要介護にならない施策の一つとして、高齢者に対して行政機関の施策等（市民センター）に週1～2回通所させ、各人に合った運動等を行い、健康維持に努める事が必要である（町会・自治会単位で実施。老人を家（自宅）から一歩でも出す事が必要）。その結果、行政において各高齢者の健康状態が把握出来る。
- ・ 腰を痛めている一人暮らしの者としてちょっとした事ですごく元気をいただけます。
- ・ 今年は喜寿、しっかりと後期高齢者になっていますが、公的機関や子供達の世話にならないよう、自分の身体を鍛える為、水泳やジムで若い人と一緒に頑張っています。75歳以上でこの様な所で励んでいる高齢者に助成金が出たら良いと思う。身体を鍛えたら病院にかかる費用も安くなるから、市も大いに老人を運動させるよう働きかけたら良いと思う。
- ・ 寝たきりや痴呆になって介護されながら長寿である事よりも、自分の生活は自分で出来る能力をいつまでも持ち続けられるよう、早めに医療を受けられ、生活・自立できる福祉サービスを受けられる事が大切です。重症化しない予防対策に力を注いで下さい。子供の遊び場の隣にリハビリの出来る高齢者の広場が欲しいですね。
- ・ 介護保険や福祉に関しては、現在のままで良いと思います。認知症については何を心掛けたら予防になるのか、毎日の生活に関係していると思いますが、歩かない私は注意が必要かと思いました。認知症予防教室があったらと思いました。
- ・ 80歳を越えてもフルマラソンを完走する高齢者が珍しくない時代です。市でも高齢者対策の一環として老人の体力向上のための施設を作り、積極的に指導するようにしたら要介護の高齢者が減少し、財政面でもプラスになると思います。
- ・ 認知症を進めない（遅らせる）為のリハビリ教室を是非設置して欲しい。週に一度1時間程度の教室。
例：お笑い、軽いスポーツ、幼稚園生との遊び、等々。
- ・ 健康は口から入れた食物で維持出来ます。昭和30年代の日本食が一番理に適っていると学んでいます。和食の普及に力を入れていくことを地域をあげてやって行って欲しい。食育を若い人に広めて欲しい。介護を受けなくて済む高齢者になるのは食育です。予防トレーニング、自己責任を果たすこと以外にありません。

8 生きがい、地域のつながり等について

- ・ 一人暮らしの人を誰かが月に1回位見て回るシステム。自治会又は新聞配達の有効活用等。
- ・ 高齢者でも健康な方が沢山いらっしゃいますので、生き甲斐と収入（少しで可）のある仕事とができるようにしたら良いと思いますが。例えば料理の得意な人とか掃除の出来る人等、組織的に活動できて人の役に立てるようにする、助け合えるようにする等。
- ・ ハローワークで仕事を探すようにボランティア活動情報がわかるといいですね。ポイント等頂けて自分が介護を受ける時に使用できたらやりがい、生き甲斐になり楽しくなりそうです。
- ・ 介護ボランティアにより自分がそのような状態になった時のプラスアルファが得られる制度があれば、もっと気軽にボランティア活動に参加できるのではと思います。
- ・ 市の方は人手もなく大変だと思います。私は松飛台に住んでいますがここは地域福祉というものがありません。もう少し地区ごとにお年寄りに声を掛ける事から始めていく。町会を少し動かして欲しい。人と話をするだけでボケも少なくなり楽しい毎日が過ごせると思います。
- ・ 松戸市は近隣諸市より情報の提供等が市民に対して進展していると思うが、社会福祉協議会、地域との密着が薄れているようです。地域毎の高齢者の集い等企画して欲しいです。

- ・健康な時は介護・福祉に対して一度も関わりが無く、病気になった時に初めて介護等にお世話になると思う。もっと健康な時にボランティア及び施策に係わる事があればと思う。
- ・何かとお世話になります。私も80歳を超えました。日常生活も少し不安もありますが、どうにか過ごしております。「自治会」等の誘いや行事について何の連絡もありません（他の会は「歩け歩け」とか「一泊旅行」等行事も多いようです）。皆さんと接する機会が欲しいですね。
- ・高齢者のもっている潜在的な力を活用して高齢者が安心して暮らせる街づくりをされたい。新聞等で常盤平の見回りなどいい例ではないでしょうか。人の集まる場所を設けたらいかがでしょう。喫茶店等で朝食夕食のサービスが得られるような施設を設けたらいかがでしょう。人の交流がいきいきした高齢者を育ててくれる。
- ・何よりも近くの者同士がよく知り合い、助け合う事が大事。日頃から仲良くできる町会活動が基本ではないかと思う。声を掛け合い、お互いを大切にできる地域を行政に望みます。
- ・現役を退いた後、健康で時間的に余裕のある高齢者は少なくありません。その人達自身の生き甲斐や目的となり、病気や認知症の予防に役立つためにも、もっと気軽に参加できるボランティア活動が地域に根付き機能するシステムができればと思います。身近に相談できる所があるだけでも助かります。
- ・最後まで今まで学んできた事を生かして楽しく仕事をして一人ですので生きて行きたい。健康管理して高齢者の間に合わせの仕事でなく、経験を生かした仕事に就けるよう応援して頂きたい。
- ・高齢者になるとまず動かなくなる、考えなくなる、付き合わなくなる等が日常的になる。生涯現役である人は上記のような事はない。しかし、全ての人が生涯現役にはなり得ないが、半強制的にでも政策的に上記が行える社会復帰、活動を行う場の提供が必要かと思う。年に合った活動の場を考えて欲しい。老人会みたいなのはいやです。
- ・減反政策により田畑の休耕地が散見される。これを利用促進する方法を農家の人と考え、老人の健康維持促進のための家庭菜園を安くできるよう市として進めて欲しい。
- ・生涯大学が事業仕分けの対象になっているようですが残念です。老後をいきいきと暮らしたいです。
- ・先ず松戸市を助けられ上手になる、支え合いマップを作る。ご近所で面倒見のいい人、近所付き合いのありそうな家との間を線で結んでいき、何かあった時は訪ねて行くと世話やきさんが居られたら、それは貴重な「助けられ上手」の発見になると思う。

9 医療について

- ・公的医療機関の充実とそこへ行くための交通の便を考えて頂きたい。
- ・市立病院の充実。特に医者不足が目立つ。一般医療施設との連携と告知の不足。
- ・老人における特有の病院（中途半端な規模でなく専門病院を作って下さい）、老人病メディカル。
- ・脳卒中その他、後遺症などのリハビリを継続的に受けられる病院など公的機関が全然ないので、安心してずっと続けてかかれる所が数多く欲しい。
- ・リハビリ等で入院した場合、やっと慣れたら3ヵ月になると他の病院に移らなければならないとよく聞きます。高齢者は慣れた病院やスタッフでないと中々心を開きません。家で介護出来るようになるまで同じ病院に居られるように希望します。
- ・市の健診で胃検査は集団ではなく、各自病院で受診出来るようにして欲しい。高齢者は特定日に集団健診の場所まで行くのは大変だと思う。
- ・病院です。手の痺れ・足腰色々痛い。どこの病院に入って良いのか分からない。一人で行ける所は、「それでは痛み止めを飲んで下さい」で終わり。もう少し年寄りが相談できる病院が欲しい。
- ・最近、呼吸器疾患などに在宅酸素療法をする人が増えているそうです。私もその一人です。これに必要な酸素ボンベは民間業者によって配送されています。大災害時に生命維持に不可欠な酸素が滞りなく配送されるのか。災害対策を策定する際に、こうした災害弱者もいることを念頭に置いて下さい。
- ・低収入の者でも入院できる病院が欲しい。

- ・最近妻が物忘れが多くなったような状態になった（71歳）。私も76歳で認知症にならないように生活している。できるならば市病院に専門病院を作ってもらいたと思います。
- ・母親は3年半同一病院で、更に付き添い制度もありましたので家族にとってとても助かりました。病院に入ったら最後まで転院せずにいられたらと思います。平成6年頃まではとても良かったと思います。病院の制度が良かったのか。
- ・医師、看護師の在宅医療サービス。
- ・医師の往診システムづくり（介護要の方へ）
- ・超高齢者に無駄な医療をしない（法律などで）方策も考えて欲しい。

10 介護者について

- ・介護する家族は精神的・肉体的に大変です。休息を取れるようなサービスを充実して欲しいです。
- ・老老介護等ほか在宅介護する人達に対し、経済的支援の充実等、更に支援を拡充して頂きたい。相当にきつい労働を強いられ、見るに耐えられない程の精神的にも肉体的にも過酷な介護と思う。重労働で介護する人が参ってしまう状況にある。手厚い支援を乞う。一番可愛そうだ。
- ・11年前（H9～11年）、高齢者の母85歳、私62歳で母は寝たきりでしたが3年半面倒を見ました。その経験から辛い事の連続でした。朝・昼・夜の時間にとらわれていました。私は腕・腰痛等になりました。高齢者の福祉は若い人でないと務まらないと思いました。
- ・介護している夫、妻が出かけて集まりに行く事にはできるでしょうか。一人家に残すのはお互いに気に掛かる。他人の話聞くことは目を開かせ知識を広め、介護の手助けになるかもしれません。介護者にはそんな時間が取れますか。24時間気を抜く事なく張りつめているから介護疲れで殺すことで事件になっている。
- ・家族が介護を主にしている時（20年経つ）保険料の割引があればと思います。手術の後遺症で腰、足に痛み、しびれ、引きつけ有り歩行困難です。
- ・ますます高齢化が進んでいく中で介護される人々への配慮は勿論大切ですが、介護する人への配慮（経済的な面も含め）が大事かと思います。

11 バリアフリーについて

- ・公衆トイレを増設してもらいたい（高架下の駐車場や自転車置き場、バス停、また、駅のトイレを改札の外にする等）。高齢者が外出しやすくなる。
- ・歩道と自転車道を分ける（特に交通量の多い所）。6号線や6号線から松戸駅方面に入る道では自転車も危険。
- ・歩道の整備をもっと充実して欲しい。
- ・高齢者が歩行並びに介護用車椅子、四輪車歩行器が通行できる歩道設置の拡大、安全対策に。
- ・歩道について一言。U字溝に蓋をして歩道としている所が多いが、この蓋に取り外し用の穴が開けられている。この穴につま先を引っかけて転ぶ人がよくおります。また、蓋自体の継ぎ目同士がデコボコがあり、躓きやすい。また、道路に面した庭の車の出入りに配慮したつくりになっているので、こうした所では歩道のアップダウンが激しい。もっと歩く人の目線で歩道の整備をしてもらう事が、ひいては高齢者や障害を抱える人に対する福祉のひとつであり、大変重要な点だと考えます。
- ・直接関連はないのですが、松戸駅にエスカレーター、エレベーターがないために不自由を感じています。足腰の悪い方、高齢者は治療に通院することをとても気にして、また、友人知人と会って楽しむこともなくなり、家に閉じこもりがちとなっていくのではないのでしょうか。

12 アンケート調査について

- ・アンケート項目が多すぎて理解に苦しむ上、正しい答えが難しい様な気がします。集約をどの様にするのか心配。
- ・特にアンケートの内容については異論はありませんが、長く多い質問については長時間大変疲れました。今後は介護のランクを調査してポイントを集約したものを考えないと、多くの高齢者はアンケートを拒否するのではないのでしょうか。
- ・いろいろな資料を読んでもどれも難しく理解できない。全て必要なサービスなのにその中から必要なものを選べなんてひどいですね。
- ・アンケートの集計結果についてはアンケート回答者に知らせて下さい。アンケートを取って仕事が終わりという地方自治体が多い。アンケート結果によりどのような方策を立案するのか関心があります。
- ・アンケート調査はどのようなメリットがあって実行しているのでしょうか。書類を作る費用を考え答をまとめても良い結果が出るとは思いません。まずは市役所にみえる方々を聞き取り調査をした方が正しい答えが出ると思います。無駄な税金を使わず職員でやる、調べることが大事です。調査の主旨は理解できません。
- ・大変有意義なアンケートでした。どの問題も突発的な事例と多種類のことで、予備的に対応することの難しさが思い致されます。またその御苦勞が想像され、今回のこのようなアンケートの企画立案には大変感謝しております。
- ・このアンケートに参加したことで、近い将来直面する色々な問題について気付かされた事が沢山ありました。

13 その他

- ・行政は土日祝日等関係なく対応できる態勢を考えて欲しい。
- ・まだ日数がないためよくわかりませんが、市の職員の方がもう少し親切ならと思います。
- ・男女問わず20歳になったら、介護の現場での実習を必ず受ける制度を1日も早く国会で設立して欲しいです。
- ・自分が介護を行う場合とされる側とがダブるような年齢ですのでとても切実に感じました。日々心身ともに健康でありたいとの切実な思いに駆られました。
- ・安心して暮らせる老後の為に、若い頃から節約を重ねて努力もして人並みの遊びを控えてきたので今日の暮らしがある。安易に国や地方に頼るといふか、将来を考えず、福祉を声高に言う風潮は我慢ならない。もっと苦があれば楽ありの教育に力を入れるべきと思う。
- ・コミュニティバスの運行をお願いしたい。町会又は自治会で運行が出来れば、高齢者のみならず一般市民にも利便を持たせられると思う。他の市町村ではすでに運行されている。一考をお願いしたい。乗合タクシーでも良いと思います。市民の利便性を考えて頂きたい。
- ・親子が同居すること、自由気軽さはなくなるが、忍耐力、人を思う気持ち、一般常識がお互い身に付くと思っています。介護するにも1人より2人。人間みんな終が来ます。今のままでは介護者はだんだん多くなると思います。少し答がずれているかも知れませんが実感しております。

3. 介護保険在宅要支援・要介護認定者調査

	項 目	件数
1	介護保険の制度やサービスについて	175件
2	住まい、施設について	82件
3	経済的負担について	71件
4	高齢者施策について	49件
5	情報提供・相談について	43件
6	自分や家族の将来について	25件
7	介護者について	25件
8	医療について	20件
9	生きがい、地域のつながり等について	19件
10	バリアフリーについて	4件
11	介護予防について	3件
12	アンケート調査について	39件
13	その他	52件
合 計		607件

1 介護保険の制度やサービスについて

- ・一人暮らしを出来ているからと介護度を下げないで欲しい。できる限り努力をしている現状を理解して欲しい。
- ・介護度が5の人より認知症を持つ3の人の方が手がかかります。しかし、5の人の方がお金の面では高く、3の人の方が安いです。手のかかる人の方が介護保険の金額を上げた方が良いのではないのでしょうか。手がかかるか、かからないかで介護保険の段階をつけた方がよいのではないですか。何も言わずに黙って寝たきりの方が介護は楽です。中途半端に動き回られる人が一番大変ですから。
- ・サービスが突然必要になった時の対応をもっと早くして欲しいです。手続き等に時間がかかり、サービスを受けられないということがないようにお願いします。
- ・介護ヘルパーの身体介護の守備範囲が現状に合っていない。吸引、胃ろうへのチューブ接続などをしてもらえないため、家族の負担が大きい。
- ・訪問ヘルパーの日曜日、営業の所がもっと増えて欲しい。役所と同じようにウイークデイしか営業していない所が多い。日曜、祭日、働いている者もいることを分かって欲しい。
- ・初めて介護認定を受けたいと思った時、主人の事だったので支所の相談窓口に行き、いろいろ説明して頂いて、手続きができましたが、一人だったら大変だと感じました。窓口に行かれない方の申請の支援を充実させて欲しいと思います。
- ・介護保険をもう少し、使っていない人は年末に戻ってくるとか、使っている人と使っていない人との不公平をなくして欲しい。
- ・訪問リハビリを再開して欲しい。女性には女性の方をお願いしたい。
- ・デイサービスおよび訪問介護において機能訓練を確実に実施し機能回復を目指して欲しい。
- ・リハビリに関して入院時より退院後機能が落ちると皆様方が言うておられ、我が家も同じく、退院後もリハビリが続けて時間が取れると良いのですが、現行の制度が変わらなければと思います。

- ・自己負担率を増しても自宅介護サービスを充実し、重症者でも自宅介護が続けられるようにして頂きたい。
- ・現在とても助かっていることは、毎日の配食サービスとシルバーセンターの支援サービスです。これからも引き続き利用させていただきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願い致します。
- ・私は要支援1なのですが病気の事などで外出する気分にはなれませんが、デイサービスに行っている時だけは気分が晴れますのでデイサービスに行ける回数を多くして欲しいと思います。
- ・身障者以外でもタクシーの補助制度を作って欲しい。通院やプライベートな外出は年に何回までとか等でも補助して欲しい。経済的負担がかさむ。
- ・足腰が弱く通院等にタクシーを利用するため交通費の負担が大きい。食料品の買い物等の配達制度があれば良いと思う。
- ・入院の折、身の回り（洗濯、買い物）のことをしてくれる制度があるといいと思います。介護保険のヘルパーさんはダメなので。
- ・高齢者の在宅生活を支援する為の内容をもっと増やして欲しい。例えば病気の為、健康上必要とする家具他、安く買えるような割引券等、市の援助等が欲しいと思います。
- ・今回バリアフリー工事を介護保険を使ってさせていただいて本当に助かりました。老人も歩きやすくなり家族も安心しました。しかし古い家ゆえ、介護保険だけでは足りず、市の補助も必要になりましたので、この補助は後続の方にも必要かと思っていますので是非継続していただきたいと思っています。
- ・介護保険の利用者負担について。収入に応じた利用者負担にして、介護従事者の人的質の向上を図って欲しい。介護従事者の教育にお金をかけて欲しい。10年後20年後のために。
- ・介護の仕事に携わる方も本当に大変で頭が下がりますが、ヘルパーさんやケアマネジャーなど資質にばらつきが大きいと思う。お世話になっているため不満を言えずにストレスがたまることが多い。
- ・介護される人について充分理解し、その介護について献身的なヘルパーさんを養成していただきたい。ヘルパーさんに任せることで、本人の体調が悪くなったりすることは困ります。現在満足できる介護のできる方は1割くらい。その方々にはとても感謝しています。

2 住まい・施設について

- ・老人ホーム等の増設を希望します。最終的に体が動かなくなったら施設に入るしか道はないと考えます。自宅で過ごせたら一番いいのですが、全て問題が多すぎます。老老介護とか大変です。
- ・年金で入所出来る7～8万円位のホームを早急に作って欲しい。認知症や病気が悪化した時、速やかに入所できる所があると思うだけで介護の負担が大幅に軽減できるので。
- ・県営老人ホームですができれば病院に併設して下さればと思います。
- ・介護保険適用年齢目前の介護者です。この数年体調不良の時が多々あり、入院等になった場合、または1～2週間寝込むような緊急時に飛び込みで簡単に頼める場所があると良いと思っています。
- ・義母は胃ろうになったら現在の施設にいることはできません。重度の認知症で胃ろうでも引き受けて頂ける特養の定員を増やして下さい。たんの吸引もやれる資格を持つ介護職員ヘルパーを増やして下さい。
- ・民家で生活しているとのあまり変わらず、自由に活動できる施設ができれば嬉しく思います。出来る限り頑張って迷惑をかけず、そして自由でありたいと思っています。

3 経済的負担について

- ・現在グループホームを利用していますが、特養ホーム利用との費用の差が大きすぎるので考慮願いたい。
- ・民間施設の返還できない入会金が高すぎる。1Dに家賃5～6万円＋食事代＋日常のケア費で入居できるようにして欲しい。

- ・通所介護サービスにおいてフルタイムの場合、昼食代や飲み物代が実費なのでトータルの費用負担が重くなり、回数を増やせないでいる。これらの支援が欲しい。
- ・ショートステイや訪問リハビリテーションを利用したいと思った事は何度とありましたが、介護保険の他、利用を希望している高齢者の人達が別に負担しなければならない人件費（通所リハビリステーションに行くまで付き添い、見守り）を払わなければならないのは変だと思う。要介護認定の支給額が少ない。
- ・現在は家族のいる高齢者は介護保険を利用すれば生活出来ると思うが、これからは団塊世代の高齢化に伴い、税収入の不足で今のような支援は受けられるとは思えない。現役世代が医療費3割、後期高齢者は1割というのは差がありすぎる。収入の高い高齢者は3割以上でも良いと思う。介護保険、医療保険共に無駄に使っている部分があると思う。
- ・付き添いについては保険料より支払いがされていないため、病院に行く時は会社を休んで行っています。今後ますます高齢者が増え病院へ行く回数が多くなった場合、支払い能力がある方は良いですが、ない方は困ると思います。将来は付き添いについても保険料より5割程度負担していただければ良いと思っています。

4 高齢者施策について

- ・高齢者福祉に甘えるつもりはないが、消費税を上げて程良い水準を保って欲しい。北欧3国は税金が驚く程高いが福祉について非常にうまくやっている。参考にすべきと思う。
- ・特別養護老人ホームと自宅とで数ヶ月ごとに生活するという在宅・入所相互利用制度があることを知りました。もしも将来、松戸市でそのような制度が導入されたなら利用したいです。
- ・福祉を旗印にいくらでもお金を（公金）使っても良いというのではないと思います。規律ある支援、自助努力をもっと求める事も必要です。
- ・役所があまり介入しない方が良い。色々規則を作ってコスト高になるから。民間に勝手にさせる方が良い。市には期待しない。無駄な費用と職員を増やすだけで親身になって考えていると思えない。
- ・何か本人確認等求められた時に写真付きの公的な身分証を75歳以上には必要と思います（印鑑証明を取るのに役所に行った時、感じました。無理矢理本人を連れて行きましたが歩行が困難な為大変苦労しました）。
- ・調査統計も大切な事かも知れませんが、本当に高齢者の方に必要な適切な介護をきめ細かく見つけ、本当に困っている人達の救済にしっかり目を向けて下さい。また、適切な介護（高齢者にとって）は依存することではないと思います。

5 情報提供・相談について

- ・色々な情報がバラバラに来るので混乱している。活字が小さいので読むのが大変。市役所には老眼鏡はないのかしら。情報の種類毎に学校の教科書のように系統化、系列化はできませんか。
- ・小出しに対策を取るより、そこに行けば全ての事象に答えてくれる所が欲しい。要支援と要介護で担当部署が変わるのはとても不便。
- ・初めて介護者が出た時に、私自身とても戸惑い不安でした。まずどこに相談したらよいのか、申請はどうしたら等、気軽に相談出来て講演会や勉強会などあったら良いと思います。
- ・介護支援課の方と前もってアポイントメントを取り、個人別に面談の機会を作ってくれたら有り難いと思います。市役所までは行けないので支所でお会いできれば嬉しいです。
- ・認知症サポーター講座に出てオレンジブレスレットも持っているが、あれで認知症が分かったという気がしない。既に本、TVで知識として知っている事を話すだけ。認知症の専門医他の情報を多く流した方が良いと思う。
- ・市から配布された資料（おむつ取扱薬局、ケアマネジャー一覧）を随時更新して欲しい。問い合わせしてみると「現在は扱ってない」と言われる事があり、役に立たなかった。

- ・一人住まいの方、自治会にて調査してみんなが理解できるようにしておく。民生委員を活用する。
- ・私のところは夫婦とも85歳を過ぎ老老世帯です。もっと市で調査してこのような（ひとり老人世帯）だけでなく世帯に対して相談、聞き取りなど手厚い対策を講じて欲しい。これから老人世帯が増えることは目に見えている今から検討すべきことである。
- ・介護は24時間必要な時があります。そんな時に対応してくれる役所の窓口はありますか。仕事を持つ身としては役所の終業後の時間や休日に相談等のできる窓口が費用がかからずにあると良いのではないのでしょうか。
- ・市の財政も厳しいかと思いますが、病気の予防の為の知識を発信することから始めて、高齢者になった時にまあまあ健康体でいられるように具体的な働きかけをして欲しい。高齢でも元気で暮らせる人数を増やすことで福祉に頼らなくてもよい松戸市民に。

6 自分や家族の将来について

- ・現在ケアハウスで生活していますが、身体が不自由になった場合が不安。
- ・現在は収入、介護者の健康状態などでまずまずの介護ができていますが、病状が重くなったり介護者の高齢化により、先行きは心配があります。
- ・我が家の場合はデイサービス利用くらいで（週2回）認知症も軽いので（介護度2）仕事に私が出られますが、これ以上重くなったら仕事をする事ができません。本人が施設を望んでくれれば良いが、頑なな拒否の場合、今後どうなるのだろうという不安はあります。まだ本人、歩けるから良いが徘徊などになった時は福祉の手が欲しいと思います。
- ・介護は主人と娘が2人で家事をしているので困ることはないが、これからまだ要支援1なので将来だんだん悪くなった時、問題が出ると思う。その時家族に負担がかかる。今足が悪いので、まだ自分の事はできるのでよいが・・・将来不安である。
- ・母の介護についてはこれまで長女の私と妹、弟の3人で行ってきましたが、ここ3年程は施設のお世話になっております。幸い父の残してくれたもので経済的には何とかなってきましたが、その先は心細いものがあります。ただ介護をしてきた私達の方にそれぞれ重大な病気が出てきて、自分達のこれからはとても心配です。正直申して母にかかる福祉の金額を考えるとこれからの高齢化社会はとても大変だと思い、自分の番が来たらあまり長生きして若い世代に迷惑はかけたくないものだとさえ考えています。
- ・妻を介護して早12年を過ごしてまいりました。私も介護をし、仕事をしていましたが6年目にして自分自身も介護を必要な病気になりました（透析）。生活設計も大きく崩れ家も手放さなければいけなくなり大変な状況になり、これからどうしたらいいのか。

7 介護者について

- ・お世話をしてくれる妻の健康がとても心配です。身体だけでなく心のケア（ストレス）をしてやれなくてとても不安になります。このような相談が出来、少しでも解決らしくなる方法はないのでしょうか。
- ・介護者および被介護者とも高齢化しており、何時共倒れになるかわからず、また、介護は育児と異なり将来が全く不明な仕事であるので共に精神的肉体的に困難が伴います。経済的負担もあり、むやみに人を頼むこともできず、毎日が大変な負担を負っております。
- ・認知症というと医師の方でもひどくなるまで「様子をみましょう」の一言で済ませてしまう方が多いようです。しかし認知症というのは私達と違う精神社会で暮らしているので、家族にはわけのわからない言動で振り回されて大変です。今、松戸市ではそういった方々の老人施設への入所がすぐ行われずに、2、3年先と言われていますが、介護する側には1日が長く感じます。なるべく介護する側の精神負担が少なくなって欲しいと思います。
- ・家で介護している家や、介護者に対して減税とか何らかのメリットを。年に数日でも無料で特養を利用できる、嫁が休息を取れるようなサービスを希望します。

- ・ 毎日介護する人を解放してもらえる為に1日ヘルパーが来て欲しい。介護付きツアーのように利用者を1日連れ出して欲しい。
- ・ 高齢者世帯だけでなく家族と同居の世帯にも高齢者のみの世帯と同等のサービスをして欲しい。家族にも生活や仕事があり、同居しているからといって常に介護できる状態にある訳ではない。また、常に介護ができる状況としても負担は大きく、介護疲れやストレス等から悲しい事件もよく耳にする。家族へのサポートももっと重視して欲しい。
- ・ 私のように軽度の症状の者を介護していても毎日の事ストレスがたまり、友人に話しても私の考え次第とか意見され、結局は誰にもわかってもらえないという思いで、口を閉ざしてしまう。こうして介護者は追いつめられていくんだなと感じる。介護する者される者、一人一人性格も考え方も相性も全く違うので、どんなに良いサービスがあっても救われない人は大勢いる。

8 生きがい、地域のつながり等について

- ・ 淋しい時、何時でも聞いてくれる人、淋しい時、話ができる場所、温かいお茶があれば、100円位で。
- ・ 国民年金で生活している人達は通所も在宅で介護してもらおうにしても、全てお金のかかることは不安である。もっとボランティアのような人達が支援介護の必要な人達のために、お金が余りかからないお茶飲み場所を提供して、世間話ができる所があれば、もっと楽しみがあると思います。
- ・ 安心一声運動は自治会でまだ無関心の方も多と思います。自治会長が率先して働きかけて頂きたいと思います。
- ・ ボランティア（無料、有料）の組織を作って欲しい。介護保険では話し相手が認められてないが、人間にとって話しをする事が大事だと思う。開校していない小学校や地域の公会堂等をもっと開放して集まる機会を増やして欲しい。
- ・ 要支援や要介護1程度のお年寄りが社会に関わって少しでも社会に貢献できるような場があったら良いと思います。お世話されるだけでなく少しでも社会のお役に立てると実感できると、それが生きがいになる人もいます。また趣味の教室で少しでも進歩する事に喜びを感じられるのも嬉しいことです。ただ若い方と一緒にボランティアグループやカルチャースクールでは足並みを揃えるのは難しいので、高齢者参加可能なボランティアの団体、趣味の教室など考えて下さると活動の場も広がり、デイサービスだけではない高齢者の繋がりができると思います。
- ・ ある程度元気な老人が気軽に集まれる場所の提供を希望します。松戸市の場合、老人会は昔からの知り合い同士で集まっている傾向があるように思います。他所から引っ越して来た高齢者はなかなか馴染めない雰囲気がある。個人的な家同士の付き合いは高齢者には負担に思う。
- ・ 高齢者の為に有料老人ホームにも子供の歌を聞かせに来て欲しい。
- ・ 幼児、子供、小中高校など隣接して各世代が頻繁に交流ができる環境ができるように自治体などで取り組んで頂きたい。

9 医療について

- ・ 在宅医療の充実を希望します。地域の医師が訪問医療してくれると有り難い。
- ・ 今の松戸市には訪問医療のいい診療所はあるが、もっと沢山あれば、老人家庭、歩けない老人も利用できて良い。重い病気になった老人を受け入れる病院が少ないと思う。東松戸病院のような長期的療養型のベッド数がもう少し多くあれば安心して松戸市で生活していられる。松戸に住んでいる老人が松戸で安心して最期を迎えられるような市政をお願いしたい。
- ・ 寝たきりにしないため、もっとリハビリに力を入れて欲しい。歩くこと、対話ができること、自分の手で食事也能すること、トイレは自分でできること、お風呂に入れること。日常生活が最低でもできるように力を貸して欲しいと思います。

- ・老人の体、心、生活、全体をみてくれる医師が必要だと強く思います。認知症について勉強していたつもりでも家族とは良い方に解釈しがちです。そこを医師なりケアマネ、ケースワーカーなりプロがこれから辿るであろう死へのプログラムを具体的に教えて欲しかった。人工呼吸器、胃ろう、尊厳死、平穏死……。早くから家族間で話し合っておく必要があるからです。
- ・現在の神経科は予約制なので緊急時に診察してもらえる医療機関があればいいと思う。できれば夜間も診察できるような体制になっていれば非常に助かる。
- ・がん患者の介護をしています。今後がん患者の増加により在宅で療養し、在宅で看取りをするケースが増えてくると思います。お陰様で現在のところ医療に関しては往診の先生、訪問看護さんに支えてもらっております。ただ、家族としては同じ立場（がん末期の患者を支える家族）の方々と出会い、悩みや情報を共有できればどんなにいいだろうと思っています。がんセンターでも患者会はありますが、家族会はまだないようです。がん患者を支える家族をサポートすることはそのまま患者へのサポートに直結します。勿論独居で生活する方へはその分手厚いサポートが必要と思います。

10 バリアフリーについて

- ・介護が必要な方が街の中を安全に歩けるように道路（歩道）の点検をしていただきたいと思います。車椅子使用でも安心して美しい街路樹を散歩できたら良いですね。
- ・89歳にもなりますと世の中にも退屈だし、毎日出かけますとカラオケやら新松戸中央病院の通りから新松戸駅までの通りは歩きにくい。特に雨の日は水たまりがあるし、片方は斜めになって狭いので傘がぶつかり本当に歩きにくいです。何とかならないでしょうか。
- ・車椅子のトイレ。

11 介護予防について

- ・ボケ防止のためできる限りサークル活動等に参加し皆の輪の中に入りたくて出かけもし、自分の食料品も出たついでに買って来るため、ショッピングカーを引いて少し歩いては休みながらも時間をかけてしているため介護度も人より低いように思う。
- ・あまりにも介護を受ける方が多く、費用の明細を見るとびっくり致します。ヘルパーを頼む事が多すぎるように思う。自分でも出来る事はなるべく動く事が健康に繋がると思う。運動のつもりで出来る限り動くように心掛ければ介護保険も値上がりせず済むように願います。寝たきりの人達を助けるために軽い人達は頑張りたいと思う。
- ・母を介護してきた父が具合が悪くなり、父をデイサービス等の通所リハビリテーションに入所させてあげたいのですが、介護保険に当てはまらない様子。予防の為に筋力をつけたり、人の交流ができるような施設を作って欲しい。ただいま自宅で入浴することができず、困っていてもどうすることもできず、人として最低限の気持ちの良い生活をさせてあげたいです。

12 アンケート調査について

- ・このアンケートは病人、年寄りには難しいアンケートです。正常人でも考え込むような言葉です。もう少し簡単な方法で次回からはお願いします。1回に多すぎるように思います。
- ・本人は認知症でこのアンケートを理解する能力はありません。妻である私ができる事だけ記入いたしました。このような調査で本人の意志で書ける人がどれくらいいるのでしょうか。
- ・この調査票の内容全てではありませんが、当立場の人間側に立っているより調査を行っている側の設問になっているようです。当人の立場で答えられる設問を希望します。
- ・これらの質問で意味がないものが多い（我が家にとって）。認知症で話もできない者が他人に相談等できよう筈もなく、こういう愚問をぶつけられた家族はただひたすら悲しいだけです。
- ・この調査票の設計について分類設問に適切でない部分が見受けられる。体系的総合的に充分整理されないままいろいろな設問を寄せ集めた感じ。今後のため見直しが必要と思う。冒頭に対象者の身体状況の把握が必要。それにより以後の設問が変わってくる。

- ・アンケートをとりました、で終わってしまいそうで心配です。長い時間をかけて考えたアンケートでしようが、時間と金が大部かかったでしように効果は出ますか。何も変わらないと思っています。
- ・アンケートも必要かと思うが出来るなら訪問して話を聞くべきと思う。
- ・社会福祉担当部の方々、松戸市の住民の為、このようなアンケートとか大変な努力と思い感謝しております。年を重ねる事の不安、先行きを考えますと心配ばかりですが、いざという時、支援課の方々と気軽に相談にのって頂けそうで嬉しいアンケートだと感じました。どなたでも年は取るし病気にもなります。やはり安心して暮らせて行けたらどんなに幸せか、そのためには市民も色々協力、考えなくてはならないと痛感しております。

13 その他

- ・窓口において対応する職員の専門知識取得の必要性。
- ・介護していて一番困るのは本人がサービスを受けるのを嫌がることです。理由は他人とのふれ合いを好みません。もう一つはお金がかかるから嫌だと言います。もう10年近くになります。何か良い方法はありませんか。
- ・自身の息子、娘またはその家族には何もさせない、頼まないですべてを福祉の人に用をさせるのは間違っていると思う。親孝行の徳を身につけるべきだと思う。
- ・現在私は息子一家と生活してしますがあまり話すことはありません(話がありません)。相談にはのってくれますが用のないことはしません。一人暮らしの方とあまり変わりないです。ただ一人で暮らしている方は自由に行動が出来て羨ましく思うこともあります。
- ・今は介護保険あって一人で暮らしている人に本当によい時代になり心より感謝いたしております。ありがとうございました。
- ・今一人暮らしの老人の事が問題になっているが、夫婦揃っていても我が家のように妻が一人では動けない場合、私が突然動けなくなれば連絡する事もできない。一人暮らし以上に問題があり心配だ。

4. 施設サービス利用調査

	項目	件数
1	介護保険の制度やサービスについて	24件
2	施設について	23件
3	経済的負担について	7件
4	高齢者施策について	3件
5	介護者について	3件
6	医療について	3件
7	自分や家族の将来について	3件
8	その他	14件
合計		80件

1 介護保険の制度やサービスについて

- ・ 要介護認定の平等化。地域や審査する人によって違うのが現状。
- ・ 家庭で介護が出来ないので施設でお世話になっているが、笑い声が出るような接し方をしていただけるとなれば本人も安心して過ごせるのではないかと思う。
- ・ 入所すると機能低下してしまうのは、職員さんの手が足りず1日座ったままの状態にいるからだと思う。リハビリも週2回20～30分行うのみであとはなし。最低衣食住のケアをしていただければ有り難いが、この現状から脱出させてあげたい。しかし、自宅介護は難しいので我慢するしかない。
- ・ 介護保険があり、施設入所の個人負担が少なく済み、本当に助かっております。
- ・ 夫婦で別々の施設に入所しています。本人達がお互いの施設に面会に行くのは難しい状況です。施設どうしの交流なども全くないので、お互いのケアマネジャーが2人の状態を知っていれば、週1～2回1時間程度の面会であれば出来ないことではないと思います。お互いの施設の催し物やイベントなどの参加でも良いと思います。面会ができない事での2人の精神安定に対するストレス、また我慢や辛抱させるという事は介護の面から見ても良いわけではありません。お互いの施設への送迎は自費になると思います（現在の介護保険制度）。施設どうしの交流は是非とも前向きに考えて頂きたいと思います。全国的にそのような例はないのでしょうか。松戸市独自に進めて頂けるよう希望します。
- ・ 面会の都度本当に頭の下がる優しいヘルパーさんに感謝しています。年寄りも甘く接していてもどんどん自分でする気持ちが無くなります。時には厳しい言葉もあり、理解はしていますが人格を否定するような言葉は避けて欲しいです。
- ・ 施設に入所しているが、入所高齢者を若い介護士さん達がよくお世話していただき本当に感謝している。しかし、介護士さんによっては入所者の扱い方に丁寧な人は多いが、中には扱いが大雑把な職員さんもいるので、教育の統一性に欠けていることも感じられる。
- ・ 妻が入居中の施設の職員さんはみんな親切で何でも気持ちよくやってくれます。特に最近は若い人や男性も職員として配属され気軽に接してくれて楽しみです。なお、時々食事時間の前後など人手不足のように見受けられることがあります。
- ・ 特養に入所して5年になります。最初の頃はあまり感じなかったのですが、職員の離職率がとても高く、入れ替わりが激しい為、現場の人（職員）に相談も出来ないのが現状です。ソーシャルワーカーは主に事務的な仕事なので相談しても対応と言うより愚痴に近い感じがあります。確かに誰が見てもキツイ仕事です。サービスに不満があっても我慢するしか今はありません。長く働ける様な環境（お金、待遇、休暇）をもっと充実させてあげて下さい。

- ・介護センター内でも若い人ばかりが働くのではなく、人生経験者である50代～70代の話し相手する人もあった方が介護する人にも優しい相談者となってくれるのではないのでしょうか。パートでもいいと思う。

2 施設について

- ・特別養護老人ホームの数を増やして欲しい。老人保健施設はいつ出されてしまうのかと不安でたまらない。
- ・特別養護老人ホーム等の施設を増やして欲しい。数年間、順番待ちをしておりますが、なかなか入ることもできず、今の施設での費用の負担が大きいため家族に申し訳なく感じます。
- ・在宅介護に限界を感じている方は沢山いると思います。特養はどこも数百人待ちの状態、有料施設は金銭的な問題で入れない、老健は薬の服用が多い人は入れず、本当に困っている方の入所施設が見つからない現状があります。どうかリーズナブルな施設を増やして下さい。
- ・廃校等利用して特別養護老人ホームを早急に増やして欲しい。介護している人が若死している状況を考えて下さい。
- ・夜大きな声を出して自宅で暮らす事が出来なくなり、家から近くの病院などに入りたいが、そういうところが無いので困っています。
- ・現在、特別養護老人ホームに入所し、介護士さんや職員の皆様の手厚い介護サービスを受け、快適な生活を送っております。入所希望者全員が待機することなく入所できるよう施設の増設をお願いいたします。
- ・現在、両親を特養に入所させている家族からの意見です。父親が最初に入所し、その後一人暮らしをしていた母親も新しく特養が出来たので入所することができました。家族としては父親と同じ施設へ入所させたかったのですが、順番という問題があり、新しい特養の話がきて入所することになりました。2つの施設を行き来して大きな差も感じます。長い順番を待たずに夫婦で入所できる、また、介護レベルや施設の考え方も同質になればと思います。
- ・病院、リハビリ専門、入所型などあまりこだわらず、窓口を広げてもらえたらと思います。料金の問題もありますが職員不足との話も聞きました。が、皆が入りたいと思うホームは満室が続いています。あとは行政の人がホームの中にいつでも目を光らせて欲しいです。そこのホームから転居したい場合、なかなか実現できませんので。信頼できる福祉を期待します。
- ・福祉施設がいろいろなタイプがあり分かりにくいです（職員の方にも尋ねたことがあります）。

3 経済的負担について

- ・介護保険の自己負担分の経費をなるべく軽減していただきたい。
- ・介護保険料、健康保険料などの保険料が高く負担大。
- ・個室費用負担が高額になっている。
- ・意識なく寝たきりの状態で数年、快復の見込みもなし。介護費用の捻出に苦慮しています。

4 高齢者施策について

- ・市役所の介護福祉関係に携わる職員係員の皆さんは我々老人や家族に対する接し方については100点満点です。今後とも困っている高齢者に優しく手を差し伸べて下さい。
- ・病院、施設への監査は予告なしに突然やるべきです。物の移動など必ず準備しています。

5 介護者について

- ・高齢者の介護者が看ることは大変な事です。
- ・アルツハイマーの母が思う事を選び回答したが、介護者の気持ちがわかるアンケートにした方が良いのではと思う。介護者だって人間だ。苦しいのだということを知って欲しい。意外と分かり合えない介護者同士。世話する美学の人（既にうつになっている人がいます）は、施設に預けた介護者を攻撃する。辛い話だ。早くいい世の中になって欲しい、して欲しい。

6 医療について

- ・介護保険関係の病院に入院しておりますが、何時病院を出なければならないか分からないのもっと同じ様な病院を多くして頂きたい。
- ・病院（薬）との連携を強化してムダな医療費をなくしてほしい。

7 自分や家族の将来について

- ・介護保険の恩恵に預かり感謝しておりますが、財政を考えると自分達の老後は不安になります。
- ・本制度にはとても感謝しております。もしなかったらと思うとゾッとします。施設入所前の介護の難しき、大切さは身をもって感じました。今後の人生を考えさせられました。この先の人生に役立てようと思っています。

8 その他

- ・できるなら終生共に暮らしたいが、老老介護では共倒れになること明らかで、悲しく残念ですが施設でお世話になっています。
- ・高齢になって自分で何でもできれば良いのですが、人のお世話にならなければ生活できないという事は考えさせられます。自分がその立場になったらと思うと早く元気のうちに死ねる幸せを考えてしまいます。
- ・このような病気になり、どのような福祉的なものを受け取るのかわからないので、せめてそのような施しをしてくれる人を自宅に来てもらったり、また、私自身が行って聞けるような専門的な人にお会いして話を聞くような制度を確立して欲しい。自らはなかなか行けないので、また、何を聞いてよいのかもわからぬ過ぎるので。